

令和5年7月24日

所沢市民の皆様へ

所沢市医師会長
赤津拓彦

新型コロナウイルス感染症の感染対策の徹底について（お願い）

標記について、新型コロナウイルス感染症罹患者が急増しています。適切な感染対策をおろそかにしている市民が増えている現状では、近々に医療機関での対応が困難になる可能性が高いです。どうか、基本的な感染対策の遵守、徹底をお願い申し上げます。

記

新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、定点観測となっています。定点観測医療機関は小児科が主体であり、新型コロナウイルス感染症の広がりを正しく反映しないのではないかの危惧は以前から話題となっていました。最近、小児科では新型コロナウイルス感染症以外のRSウイルス、ヘルプアングーナ等の発熱疾患が増えており、新型コロナウイルス抗原検査の実施も限定的にしか実施できていません。このような状況下でも定点当たりの新型コロナウイルス感染患者は増加しています。

成人が主な対象である所沢市医師会での休日当番医からも新型コロナウイルス陽性患者が7月に入り急増していることが報告されています。

学校が夏季休暇となり、市民全体の活動が増える中、暑さ対策のためか、感染管理（マスク着用等）をおろそかにしている方々が増えています。

発熱患者に真摯に対応している医療機関の一部では発熱外来の予約数が対応上限を超え、患者から罵声を浴びせられる事態になっています。

医療・介護・福祉に携わるエッセンシャルワーカーだけが努力しても市民の協力がなければ地域全体での感染管理ができるはずはありません。国家全体の運営のために、ざるの状態を看過する決心を行政がしたことと異を唱えるつもりはありませんが、せめて医療機関への誹謗中傷が的外れであること、市民ひとり一人が感染対策の主役であることを認識し、全員で感染対策に臨むことが必要です。

基本的な新型コロナウイルス感染対策を徹底し、大切な夏休みが新型コロナウイルス感染症罹患で台無しにならないように、御協力をお願い申し上げます。

以上

新型コロナウイルス感染症対策の5つの基本（厚労省）

1. 体調不安や症状があるときは自宅で療養するか医療機関を受診すること
2. その場に応じたマスクの着用やせきエチケットの実施
3. 3密を避けることと換気
4. 手洗い
5. 適度な運動と食事

※：上記は5類移行後の指針として発出されましたが、以前の新しい生活様式よりも緩和されています。ウイルスの感染力は以前よりも強くなっているようですので、5つの基本を厳守することが重要です。